

令和5年度 第1回岡崎市農業振興ビジョン推進委員会 会議録

1 開催日時

令和5年10月19日（木） 14:00～15:15

2 開催場所

岡崎市役所西庁舎 5階 501号室

3 出席者

(1) 委員

藤井芳一、羽根田正志、大竹博久、倉橋勲、米津文子、太田立身、笹竹恵子
(欠席者：小玉久美子)

(2) 事務局

農地整備課長：杉田昌久

中山間政策課：畔柳典生

農務課長：小林哲夫

農務課農政係：木村理恵、杉浦一子

4 傍聴者

なし

5 自己紹介

各委員自己紹介

6 会長の選出

会長を藤井芳一委員とする案に、全委員承認。職務代理者に、羽根田正志委員を会長が指名。

7 会議次第

議題

- 1 岡崎市農業振興ビジョン2030及びアクションプランについて
- 2 有機農業の推進について
- 3 岡崎市農業振興ビジョンに係る懇談会の設置について
- 4 その他

8 議事要旨

議題

- 1 岡崎市農業振興ビジョン2030及びアクションプランについて
岡崎市農業振興ビジョン2030及びアクションプランについて、事務局から説明。

【各委員の主な意見・質疑】

○笹竹委員

「地産地消」ではなく「地消地産」での取組の意味について説明を。

(事務局) 地域で消費するモノやサービスを、できるだけ「地域で生産」しようという考え方にに基づき、市内で消費する農林産物について、市外産から市内産へ置き換えを推進する取組と説明。市民から需要がある農産物の生産量の増加も目指していきたい。

○藤井会長

市内産を市民が消費するには、市内産の食材について市民が意識してもらえることが大事であり、市内産の魅力についての啓蒙活動も必要である。

○太田委員

何の農産物が岡崎市民から需要があるか、農産物別の需要を示すデータはあるのか。

(事務局) 岡崎市民が必要とする農産物を岡崎市で生産し、岡崎市内での自給率を上昇させたいと考えている。今後、産直施設やJAに協力を依頼し、販売データ等の調査を検討したい。その調査結果は、農業者へ還元したい。

原案どおり委員会として承認。(全委員承認)

2 有機農業の推進について

有機農業の推進について、事務局から説明。

【各委員の主な意見・質疑】

○大竹委員

有機給食実現に向けて課題が多いが、どのように解決していく予定か。課題の一つに均一的な規格があるが、有機農業の農産物は、形・規格を均一にすることは難しい。

(事務局) 有機農法について、コンサルタントを入れて課題解決を進める予定である。国も有機の施策を進めているので、国の動向も確認していきたい。

○大竹委員

農業者も自分の所得が上がらないと有機農業に取り組みづらい。

○藤井会長

有機農業の農産物が付加価値のあるものである、という消費者へのPRも必要。また、有機農産物で岡崎市独自で代表的なものができ、岡崎市の有機農産物として知名度が上がると良い。

原案どおり委員会として承認。(全委員承認)

3 岡崎市農業振興ビジョンに係る懇談会の設置について

岡崎市農業振興ビジョンに係る懇談会の設置について、事務局から説明。

原案どおり委員会として承認。(全委員承認)

4 その他

以下3点を事務局から説明

- 1 地域計画について
- 2 おかざき農業応援チケットについて
- 3 どうするNABE-1岡崎城グランプリ～一万人鍋～について

終了を宣言。